

# COVID-19 と生命倫理 :

## Part 1 ブラジル生命倫理学会勧告 No. 01/2020 と 直面する課題

- 公衆衛生上の危機におけるヘルスケアへの公平なアクセスの保証を目的として人権および人間の尊厳を保護する。
- この目的に沿うガイドラインとアルゴリズムを開発し実行する課題に立ち向かう。

日本生命倫理学会COVID-19タスクフォース+ブラジル生命倫理学会 共催

協力：生命倫理政策研究会、臨床評価刊行会、くすり勉強会

後援：臨床研究リスク管理研究会

ZoomによるWeb版国際ワークショップ

2020年10月22日(木) 日本時間 9:00-11:00PM

ブラジル時間 9:00-11:00AM

使用言語：英語 参加費：無料

要・事前登録：[chieko.kurihara@nifty.ne.jp](mailto:chieko.kurihara@nifty.ne.jp)宛にメールでご一報ください。



講演：

**Prof. Dirceu Greco, M. D., Ph.D., Minas Gerais 連邦大学 感染症学・生命倫理学  
名誉教授**

### 【企画趣旨】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の地球規模の拡大により、私たちは様々な生命倫理上の課題に直面しています。ブラジル生命倫理学会ではこの状況に向けた勧告（01/2020）を作成しました。今回、同学会長である Greco 教授を招いて、この勧告を日本に紹介し、議論する機会を設けたいと思います。

Greco 教授は 1980 年代の HIV/AIDS 危機以来、ブラジルの感染症対策、生命倫理学の確立に寄与され、さらに、HIV/AIDS、結核に関する倫理の国際的文書、CIOMS 研究倫理指針 2016 年改訂、世界医師会によるヘルシンキ宣言、そして UNESCO 国際生命倫理委員会における COVID-19 の倫理を含む文書など、重要な国際文書の作成・改訂に関与されています。

今回、ブラジルにおける COVID-19 パンデミックの概況、UNESCO の取り組みなどもあわせて概説いただくことで、人間の尊厳と人権の保護を基盤とした感染症対策のあり方について、グローバルな視野から学ぶ機会とできればと思います。

◇ 記録集作成のため録画しますが、参加者の発言を本人の許可なく他の機会に公表することはありません。

◇ 事前に [chieko.kurihara@nifty.ne.jp](mailto:chieko.kurihara@nifty.ne.jp) 宛に英文で質問をお寄せいただければ、事前に Greco 教授にお知らせしておくことができます。

オーガナイザー：

栗原千絵子、齊尾 武郎、中澤 栄輔（日本生命倫理学会 COVID-19 タスクフォース）



Professor Dirceu Greco, M.D., Ph.D.

Dirceu Grecoは、ブラジルのBelo HorizonteにあるMinas Gerais連邦大学(UFMG)医学部の感染症学と生命倫理学の名誉教授である。MDとPhDをUFMGで取得、その後New York州立大学(Buffalo)およびLondon大学(英国)で臨床免疫学を専門として習得した。UFMGでのDean for Post-graduation(1994-1998)、UFMG大学病院における感染症および寄生虫病サービスのチーフ(2009-2011)、UFMG大学病院臨床研究センター長(2005-2010)、UFMG研究倫理委員会創立メンバー、ブラジル国家研究倫理委員会(CONEP)の委員(2007-2010)、ブラジルAIDS委員会(保健省)委員。

現在は熱帯医学と感染症の大学院コース(UFMG)で生命倫理分野のセミナーを担当している。関心のある主なトピックは、感染症および寄生虫病、生命倫理学、公衆衛生、および臨床免疫学など。HIV/AIDS及び結核の倫理、予防、ケア及び治療に関連する国内/国際ガイドラインを作成したいいくつかのワーキンググループに参加している。ブラジルのAIDSプログラム、WHO、UNITAID、UNAIDS、UNICEF、UNESCO、CIOMS、米生命倫理問題研究のための大統領委員会、世界医師会など、多くの国内/国際機関の一時的なアドバイザーを務めている。

現在、UNESCO (Paris) 国際生命倫理委員会(IBC)の副議長の1人であり、ブラジル生命倫理学会長(2017-2019; 2019-2021)を務める。

2010年から2013年にかけて、STD省AIDS・ウイルス性肝炎部門を指揮した(保健省保健調査官)。

「臨床評価」48巻1号で昨年末来日時の講演記録等を掲載しており、英語版は全文公開しています。(日本語版は一部公開)

[http://cont.o.oo7.jp/48\\_1/48\\_1contents.html](http://cont.o.oo7.jp/48_1/48_1contents.html)

- 第40回日本臨床薬理学会学術総会(2019年) 会長企画シンポジウム
- 国際共同研究における研究倫理の新潮流
- 国際共同研究の倫理: ブラジルからの視座
- COVID-19 レスポンス

## ●日本生命倫理学会

COVID-19の倫理 Vol. 1 ウェブで見られる資料集 リンク集制作: COVID-19の倫理タスクフォース

<https://ja-bioethics.jp/column/ethics-related-resources-on-covid-19/>

(一番下に Vol.2 以降へのリンクがあります。)

第32回年次大会(静岡)のお知らせ

<https://ja-bioethics.jp/conference/top32/>